

平成 28 年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4 年間の目標 (平成 28 年度策定)	1 年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①生徒の学習意欲を高め、進路実現を図る Semester 制の教育課程編成と組織的な授業改善に取り組む。 ②課題研究等を見直し、課題解決力や表現力を高める探究活動の充実を図る。	① Semester 制に基づく平成 29 年度入学生教育課程を編成し円滑な導入を図る。 ① アクティブ・ラーニングの視点を踏まえた授業の教員研修を開催し、教員が主体的に取り組む。	① 生徒のニーズや進路希望を調査し、年次進行型 Semester 制教育課程の原案を完成し、移行期における校内体制を整える。 ① アクティブ・ラーニング等の授業改善に係る校内外の研修をとおり、職員の理解を深め、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を実践する。	① 生徒の多様な進路実現を図る年次進行型の Semester 制教育課程の原案ができ、導入準備ができたか。 ① 授業改善に係る校内研修を開催し、職員の理解が深まり、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業が広まったか。
2	生徒指導・支援	①部活動を活性化させ、生徒の責任感や協働力の涵養を図る。 ②専門家と連携し、生徒の社会的自立を促す、きめ細やかな生徒指導・支援の充実を図る。	②スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと円滑に連携し、生徒理解を深め、組織的な生徒支援を図る。	②スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの支援体制を整え、生徒情報を共有し、適切なケース会議の開催など組織的な生徒支援を進める。	②スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの支援体制を整え、生徒情報の共有とケース会議を円滑に行い、生徒支援につながったか。
3	進路指導・支援	生徒が主体的に進路を考え、実現に向けて必要な能力と態度を育む指導・支援の充実を図る。	外部教育力の活用を促進し、個に応じたガイダンスの充実を図る。	外部試験の広報を積極的に行い、受験者を募り、インターンシップは、事前事後指導を徹底して学習効果を高める。	外部試験受験者を昨年度以上に増やすとともに、インターンシップの生徒の取組状況を改善し、成果が分かる報告会を開催できたか。
4	地域等との協働	地域との交流や協働を深め、信頼され開かれた学校づくりを推進する。	地域や保護者と円滑に連携し、地域教育力を積極的に活用する。	P T A と地域、学校の三者が連携し、生徒の学習活動を支援する取組を実践し、教育成果を広報する。	地区 P T A 大会で三者連携の取組を発表し、地域に教育成果を広報することができたか。
5	学校管理 学校運営	職員の教育力や事故・不祥事防止に係る取組を効果的に実施し、協働意欲と組織力の向上を図る。	職員のスキルアップや事故・不祥事防止に係る研修を計画的・効果的に実施する。	校内の教員研修を 5 回以上開催し、教員の意欲と教育力を高める。	研修会の出席率及びアンケート結果等により、研修効果がみられるか。